

トミコの週末ガーデニング

文: 富山昌克



はじめてのミニトマト



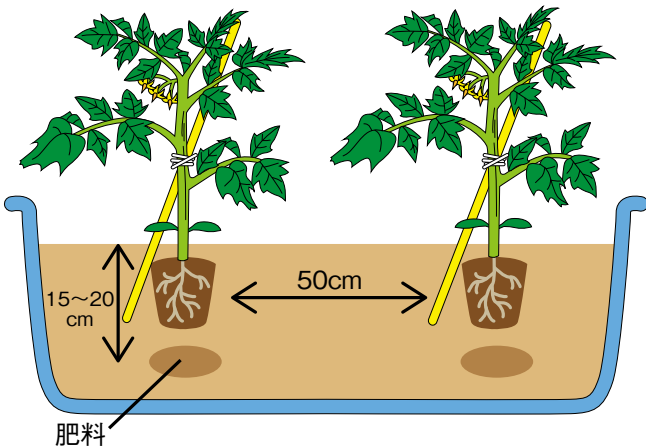
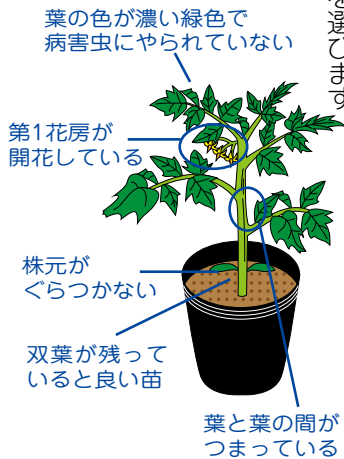
■トマトは南米アンデス高地原産の多年草

トマトはわが国では一年草扱いですが、本当は多年草です。1985年につくばで開催された国際科学技術博覧会で、「1万個着果するトマトの木」が展示されていました。冬場の環境を整えれば、本来は何年も生存して、大きな木のようになっていくます。

トマトと同じ古里をもつ野菜は、シヤガイモなどがあります。

栽培手順 苗の選び方

大きいしっかりした本葉が10枚以上付いていて、均整のとれた形をしているものを選びましょう。丈ばかりが長いものや、葉色の悪いものは、後の生育がよくありません。株元の茎を指でつまんでもへらつかないしっかりした苗を選びます。



9cmのポリポットに入っている苗は、園芸培養土で12cmのポリポットに鉢増しして、第1花房が咲き始めるまでポリポットで育てる方が後の生育が良くなります。4月でも夜間に冷え込むときは屋内に取り込みます。

植え付け

定植は、日当たりの良い場所で、大きめのプランターに株間を50cm間隔にして植えます。

トマトは花が同じ向きに咲いて着果するので、第1花房の花が手前に向くようにそろえて植えます。野菜用化成肥料を1株につき35g、15~20cmの深さの用土に混ぜ込みます。

苗が風で倒されないように、仮支柱として短い竹などを斜めに挿して、軽く茎を誘引しておきます。

POINT

トマトと同じナス科のもの(ナス、ピーマン、トウガラシ、シヤガイモなど)を作った畑に植えると病気が発生する原因になりますので、3年間は同じ土に植えないようにしましょう。コンテナ栽培の場合は、毎年新しい園芸培養土を使います。

畑の新しい場所が確保できなかった場合は、割高でも接ぎ木苗を購入するようにしましょう。

もっとお手軽に栽培!

ホームセンターで大きめの樹脂製のかごを用意します。園芸培養土を未開封の袋のまま入れ、割りばしで底や横面に排水用の穴を数か所開けておきます。上面の真ん中にカッターナイフで、直径9cmの穴を開けて、そこに肥料とともに苗を植え付けるだけでも育ちます。



容器が大きければ大きいほど栽培が容易になります。支柱を支えたり留めたりすることができるものを探しましょう。

5月号で紹介しします。栽培手順の続きは、広報ふじいでら

ミニトマト、キュウリ、ナスの3兄弟が夏野菜としてお勧めです。家庭菜園に憧れてきた人にとって、5月の大型連休に始めると失敗が起りません。今回はミニトマトについて栽培法を解説します。



栽培カレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月
植え付け		■			
施肥	■	■	■		
収穫				■	■